

教科・科目	国語・古典B	単位数	4(前期2+後期2)		
		ライン	3	開講時期	前期と後期

### 1 学習の到達目標等

学習の到達目標	古典としての古文と漢文を読み、考え方や感じ方を広げ、古典についての理解や関心を深めることができる。
使用教科書・副教材等	新編古典B(東京書籍) 高等学校 改訂版 標準古典B 学習書(NHK出版)

### 2 評価の観点等

観点	趣旨	評価方法	配分
a. 国語への関心・意欲・態度	古典を読む楽しさを味わい、古典に親しむとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	観察 レポート	15%
b. 読む能力	さまざまな古典を読み、そこに表れた思想や感情をとらえ、自分の考えを深め、発展させている。	レポート 試験	70%
c. 知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。	レポート 試験	15%

### 3 学習計画

スクーリング回数	学習内容	学習のねらい	評価の観点		
			a	b	c
前期	① 古文入門	古文に関することばの特徴やきまり、古典常識などを理解することができる。			○
	② 説話に親しむ	和歌を理解し、話の面白さを読み取ることができる。		○	
	③	この回は実施されません			
	④ 漢文入門、唐詩	漢文に関するきまりの理解を深めることができる。			○
	⑤ 名家の文章を読む	作者の主張を的確に読み取ることができる。		○	
	⑥ 物語を楽しむ	登場人物の心情を状況や行動に即して読み取ることができる。		○	
	⑦ 小倉百人一首の世界	百人一首についての基礎的な知識を理解し、関心を深めようとする。	○		
後期	⑧ 中国の思想	それぞれの思想家の主張を読み取り、自分自身にあてはめて考えることができる。		○	
	⑨ 史記を読む	文脈に即して、場面を把握するとともに、登場人物の行動や心情を的確にとらえることができる。		○	
	⑩ 歴史物語を読む	登場人物の人間関係を把握し、本文に即して登場人物の行動と心情を読み取ることができる。		○	
	⑪ 随筆を味わう	内容を根拠にして、筆者の感じ方や考え方に関心をもとうとする。	○		
	⑫	この回は実施されません			
	⑬ 日記を読む	作者のものの見方、感じ方について考え、関心を深めることができる。		○	
	⑭ 物語を味わう	登場人物の状況を把握し、登場人物の心情を的確にとらえることができる。		○	

### 4 単位修得の条件(次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件のすべてを満たすことが必要。)

スクーリング	前期2回以上、後期2回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	スクーリングの回数には含めることができない。
レポート	前1回～前6回、後1回～後6回のすべてに合格すること。	
試験	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	

○ 学習の記録		担当の先生	先生		登録				
スクーリング回数	学 習 内 容	レポート				スクーリング実施日			
		回	提出日・合格		日S	月S	火S	木S	
前期	① 古文入門	前1	1 3	2 4	4/23	-	4/25	4/20	
	② 説話に親しむ「大江山の歌」	前2	1 3	2 4	5/14	-	5/16	5/11	
	③	この回は実施されません							
	④ 漢文入門、漢詩	前3	1 3	2 4	6/11	-	6/13	6/8	
	⑤ 名家の文章を読む「臨江之麋」	前4	1 3	2 4	6/25	-	6/27	6/22	
	⑥ 物語を楽しむ「大和物語」	前5	1 3	2 4	7/9	-	7/11	7/6	
	⑦ 小倉百人一首の世界	前6	1 3	2 4	7/23	-	7/25	7/20	
	試験	レポート前1～前6の内容		本試験	追再試	8/20	-	8/22	8/17
後期	⑧ 中国の思想	後1	1 3	2 4	10/8	-	10/10	10/5	
	⑨ 史記を読む	後2	1 3	2 4	10/22	-	10/24	10/19	
	⑩ 歴史物語を読む「大鏡」	後3	1 3	2 4	11/5	-	11/7	11/9	
	⑪ 随想を味わう「枕草子」	後4	1 3	2 4	11/19	-	11/21	11/16	
	⑫	この回は実施されません							
	⑬ 日記を読む「更級日記」	後5	1 3	2 4	12/17	-	12/19	12/14	
	⑭ 物語を味わう「源氏物語」	後6	1 3	2 4	1/7	-	1/9	1/4	
試験	レポート後1～後6の内容		本試験	追再試	1/21	-	1/23	1/18	

【先生からのメッセージ】

古典では「国語総合」又は「言語文化」で学習した古文と漢文を集中して読むことで、昔の人の考えや感じ方、昔の生活を知り、現在と比較して、自分の考えを広げたり、深めたりしていきます。レポートは教科書と学習書をよく見て、NHK高校講座の動画、学習メモ、理解度チェックも参考にして取り組みましょう。スクーリングやレポートで分からないことがある場合は、教科別質問教室に参加し、解決していきましょう。

教科・科目	国語・国語表現	単位数	4(前期2+後期2)		
		ライン	4	開講時期	前期と後期

### 1 学習の到達目標等

学習の到達目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図ることができる。
使用教科書・副教材等	国語表現 改訂版(大修館書店) いきいきとアライブ国語常識(浜島書店)

### 2 評価の観点等

観点	趣旨	評価方法	配分
a. 国語への関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めようとしている。	観察 レポート	15%
b. 話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話したり、話を的確に聞き取ったりして自分の考えを深めて伝えている。	観察 レポート	15%
c. 書く能力	相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深めて伝えている。	レポート 試験	55%
d. 知識・理解	言葉の特徴やきまり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。	レポート 試験	15%

### 3 学習計画

スクーリング回数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
			a	b	c	d
前期	① 言葉遊び	日常生活の中に使われている言葉遊びに気づき、言葉の面白さを知ろうとする。	○			
	② 表記のしかた 語句の用法と文のくぎり方	言葉のきまりを理解することができる。				○
	③	この回は実施されません				
	④ 分かりやすい説明の方法	言葉のきまりを使い、相手に伝わる表現をすることができる。			○	
	⑤ 通知文／電子メール	依頼文やお礼状、電子メールの書き方を知り、書くことができる。			○	
	⑥ 電話とメモ	電話マナーに留意して、コミュニケーションを取ることができる。			○	
	⑦ 面接	面接準備シートを活用して、「自分のこと」を伝えることができる。		○		
後期	⑧ 同音異義語	同音異義語を通して、言葉の面白さを知り、関心をもつとす。	○			
	⑨ 俳句を作る	俳句のルールやポイントに基づいて、身近なものを表現することができる。			○	
	⑩ インタビューに挑戦	視点を明確にして、相手の思いや考えを聞き、自分の考えを深めることができる。		○		
	⑪ 自分を表現する	自分年表を作成することで、「自分を知る」ことを深めることができる。			○	
	⑫	この回は実施されません				
	⑬ 手紙	手紙の様式とマナーを理解し、相手や目的に応じた手紙を書くことができる。			○	
	⑭ 待遇表現	正しい敬語を理解し、身に付けることができる。				○

### 4 単位修得の条件(次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件のすべてを満たすことが必要。)

スクーリング	前期2回以上、後期2回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	スクーリングの回数には含めることができない。
レポート	前1回～前6回、後1回～後6回のすべてに合格すること。	
試験	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	

○ 学習の記録		担当の先生	先生		登録				
スクーリング回数	学 習 内 容	レポート				スクーリング実施日			
		回	提出日・合格		日S	月S	火S	木S	
前期	① 言葉遊び	前1	1 3	2 4	4/23	-	4/25	4/20	
	② 表記のしかた 語句の用法と文のくぎり方	前2	1 3	2 4	5/14	-	5/16	5/11	
	③	この回は実施されません							
	④ 分かりやすい説明の方法	前3	1 3	2 4	6/11	-	6/13	6/8	
	⑤ 通知文／電子メール	前4	1 3	2 4	6/25	-	6/27	6/22	
	⑥ 電話とメモ	前5	1 3	2 4	7/9	-	7/11	7/6	
	⑦ 面接	前6	1 3	2 4	7/23	-	7/25	7/20	
	試験	レポート前1～前6の内容		本試験	追再試	8/20	-	8/22	8/17
後期	⑧ 同音異義語	後1	1 3	2 4	10/8	-	10/10	10/5	
	⑨ 俳句を作る	後2	1 3	2 4	10/22	-	10/24	10/19	
	⑩ インタビューに挑戦	後3	1 3	2 4	11/5	-	11/7	11/9	
	⑪ 自分を表現する	後4	1 3	2 4	11/19	-	11/21	11/16	
	⑫	この回は実施されません							
	⑬ 手紙	後5	1 3	2 4	12/17	-	12/19	12/14	
	⑭ 待遇表現	後6	1 3	2 4	1/7	-	1/9	1/4	
	試験	レポート後1～後6の内容		本試験	追再試	1/21	-	1/23	1/18

【先生からのメッセージ】

国語表現では、個人での活動とグループワークの両方を学習内容に応じて行い、表現力を培い、表現を楽しむ学習を行います。レポートは教科書と問題集をよく見て、NHK高校講座の動画、学習メモ、理解度チェックも参考にして取り組みましょう。スクーリングやレポートで分からないことがある場合は、教科別質問教室に参加し、解決していくようにしましょう。